

タレイア・クアルテット サロンコンサート

2020年

11月7日(土)

【マチネ】14:30 開場/15:00 開演

【ソワレ】18:30 開場/19:00 開演

入場料：会員4,500円/一般5,000円/
学生2,500円(全席自由席)

Mitake
Sayaka
Salon

123
Mitake Sayaka Salon (vol.70)

ハンガリーが薫るバルトーク

宿命的なモーツァルトと

弦楽四重奏。

サロンで体感したい

Thaleia Quartet

<プログラム>

【マチネ】14:30 開場/15:00 開演

ハイドン:弦楽四重奏曲 第41番 ト長調 Op.33-5「How do you do?」

バルトーク:弦楽四重奏曲 第3番 BB 93

モーツァルト:弦楽四重奏曲 第15番 ニ短調 K.421

【ソワレ】18:30 開場/19:00 開演

ハイドン:弦楽四重奏曲 第67番 ニ長調 op.64-5「ひばり」

バルトーク:弦楽四重奏曲 第3番 BB 93

モーツァルト:弦楽四重奏曲 第15番 ニ短調 K.421

*プログラム等は、やむを得ない事情により、変更になる場合がございます。

<プロフィール>

Thaleia Quartet (タレイア・クアルテット)

山田香子、日吉麻優子、渡部咲耶、石崎美雨の4人により、2014年東京藝術大学在学時に結成。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2015 第3位、第3回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第2位受賞。2016年度より、2nd vnを大澤理菜子に変更し活動を続け、同年イギリスにて開催のLake District Summer Musicで英国デビュー。湖水地方各地にてリサイタルを開催し、好評を博す。2017年、イギリスにて開催のChilingirian Quartet Summer Courseに参加。宗次ホールにて百武由紀氏、藝大130周年事業「藝大茶会」にて澤和樹氏と共演。日本演奏連盟主催「新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ」オーディションに合格し、東京文化会館小ホールにてリサイタル開催。第4回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位受賞。公益財団法人松尾学術振興財団より第28回助成を受ける。サントリーホール室内楽アカデミー第5期フェローメンバー。プロジェクトQ第15,16章に参加。松原勝也、山崎伸子、磯村和英の各氏に師事。現在、山田香子、二村裕美、渡部咲耶、石崎美雨の4人で活動中。

後援：公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団



●ご予約・お問い合わせ 株式会社 I L A (美竹清花さろん) 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)、070-2168-8484 (時間外可) Webサイト: <https://bit.ly/3gJl0N0>

タレイア・クアルテット サロンコンサート

123
Mitake Sayaka Salon (vol.70)

1st Vn. 山田 香子
YAMADA Kako

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校および東京藝術大学を経て、同大学院修士課程を首席で修了、大学院アカンサス音楽賞受賞。静岡県学生音楽コンクール第1位および室内楽協会賞、KOBE国際学生音楽コンクール優秀賞(部門最高位)および兵庫県教育長賞、大阪国際音楽コンクール第2位(部門最高位)、等受賞。沼田園子、澤和樹、山崎貴子、ジェラルド・ブルー、ピエール・アモイヤル、堀正文、松原勝也、野口千代光の各氏に師事。



2nd Vn. 二村 裕美
FUTAMURA Hiromi

福岡県北九州市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学卒業。北九州芸術祭、全日本学生音楽コンクール、西日本国際音楽コンクールなどのコンクールにて上位入賞。第15回北九州市の若い芸術家を育む会パドローニングランプリ。デザインKアンリミテッド国際音楽コンクール2014、全部門中グランプリ。第8回横浜国際音楽コンクール、アンサンブル部門第1位。



2020年11月7日(土)

【マチネ】14:30開場/15:00開演 【ソワレ】18:30開場/19:00開演 入場料：会員4,500円/一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

後援：公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

Va. 渡部 咲耶
WATABE Sakuya

5歳よりヴァイオリンを始める。大学入学時にヴィオラに転向。東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。大学卒業時に同声会賞、大学院修了時に大学院アカンサス賞を受賞。第3期サントリーホール室内楽アカデミー修了。2015年ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール第3位受賞。2016年宗次ホール弦楽四重奏コンクール第2位受賞。2016年東京芸術大学奏楽堂にてヘンシェル弦楽四重奏団とモーツァルトの弦楽五重奏曲を共演。これまでヴァイオリンを西川重三、小林すぎ野、久保良治の各氏に、ヴィオラを市坪俊彦氏に師事。



Vc. 石崎 美由
ISHIZAKI Miu

8歳よりチェロを始める。第12回泉の森ジュニアチェロコンクール高校生以上の部銀賞。第68回全日本学生音楽コンクール東京大会本選チェロ部門大学の部3位。第12回ビバホールチェロコンクール井上賞。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業時に同声会賞受賞。

山崎伸子、中田有、増本麻理、中木健二各氏に師事。



織弦楽四重奏団の女神、タレイア・クアルテットが魅せる。 宿命的なモーツァルトとハンガリーが薫るバルトーク——

彼女たちの外見はとても華やかである、そしてその演奏も美しく輝いている。

しかし、音楽の方向性が一致している演奏の内面には、なにか本格的な迫力を感じることができる。弦楽四重奏曲は、チェロとヴィオラと第1第2ヴァイオリンというきわめてシンプルな構成であるが、一切の虚飾や冗長性が許容されないため、作曲家が渾身の力を込めて生み出した貴重な作品が多い。

彼女たちはそんな作曲家の意図を汲み取るように、弦楽四重奏曲の真髄を心得ているかのような演奏をいつも具現する。その証拠に、ハーモニーが美しい。

普段は朗らかな彼女たちから生まれるその透明感の高いこだわり抜いたハーモニーには、何か秘められた強さのようなものさえ感じられる。そして今回はそんな彼女たちが取り組むにふさわしいプログラムが用意されている。目玉はモーツァルトの弦楽四重奏曲 第15番 ニ短調 K.421。モーツァルトの音楽というのは心の中のものもやしたものも霧散していくように、誰にでも分け隔てなく光を注ぐようだ。だが今回はモーツァルトが「死」の予感を漂わせる調としてドンジョバンニやレクイエムでも使用したニ短調である。宿命的でどこか哀愁が漂う曲調にどんな意味が秘められているのか、生の演奏で体感しよう。

天上の音楽がモーツァルトであるとしたら、それとはどこか対照的な、土着のハンガリーが薫ってくるようなバルトークの弦楽四重奏曲 第3番も聴きどころといえる。

本格的な弦楽四重奏の演奏を体験するのに理想的なサロンでの演奏会を味わったことのない方には、特に強くおすすめしたい。(美竹清花さろん)

※タレイア(ギリシャ神話で開花・繁栄・花盛りの女神とされる)



渋谷駅 徒歩2分 宮益坂、クラシック音楽サロン、誕生。



●お問い合わせ

株式会社 ILA (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外可)

Fax 03(3409)0188

